

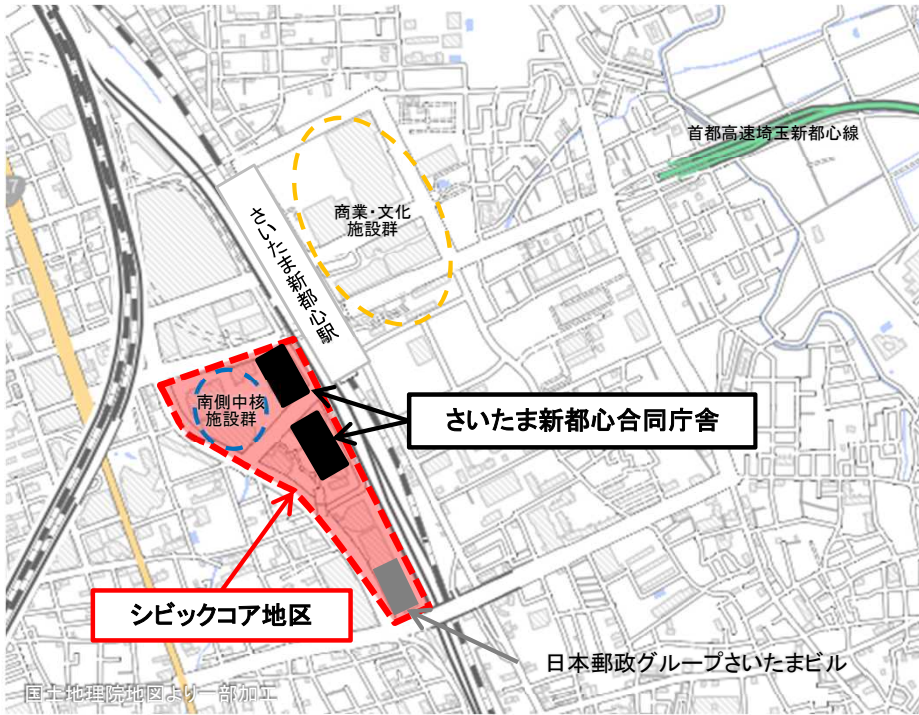
埼玉県さいたま市シビックコア地区

平成8(1996)年2月29日策定

～関東・甲信越地方の広域的な複合交流拠点の形成～ 12.9 ha

基本方針

- 活発に人の交流・情報の交換が行われる、魅力的な賑わいのある地区の形成
- 国際交流機能や文化機能等の集積
- 省資源・省エネルギー、バリアフリー、防災への配慮

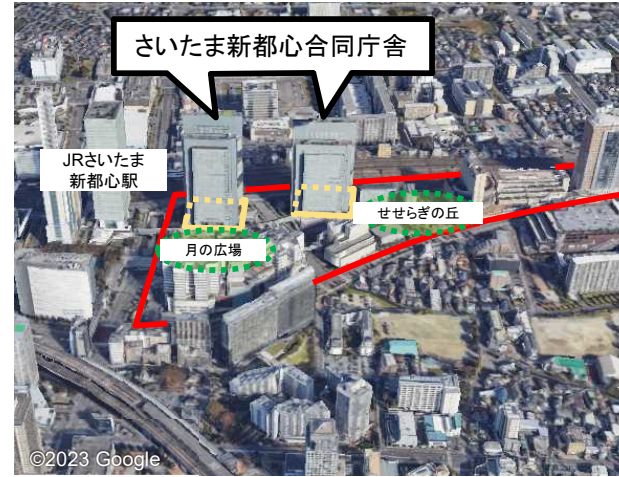


主要施設

- ・さいたま新都心合同庁舎
- ・日本郵政グループさいたまビル
- ・南側中核施設群 等

当時の関連都市整備事業

- ・さいたま新都心土地区画整理事業
- ・街路事業
- ・都市再生総合整備事業 等



- 各街区に「辻ひろば」を配置
(「月のひろば」「せせらぎの丘」)
- 「辻ひろば」に面して市民利用施設を配置
- 「ふれあい軸」を形成する歩行者動線

- テーマ性のある緑豊かな景観形成
- 広域的なランドマークとして象徴性ある意匠
- 歩行者デッキを常時開放
- 人口地盤による自動車交通動線の分離



シビックコア地区に整備された官庁施設の概要



- 庁舎名称 (括弧書きは国有財産台帳口座名)
さいたま新都心合同庁舎
(さいたま新都心合同庁舎1号館・2号館)
- 建築年次・規模構造
1号館：2000年・S造 31階建 地下2階
2号館：2000年・S造 26階建 地下3階
- 延床面積
1号館：約123,496㎡
2号館：約134,681㎡

【主な取組み】

- ・近隣施設を繋ぐ歩行者デッキ、辻ひろばを整備
- ・街区全体と統一感を持たせた照明計画、サイン計画 等